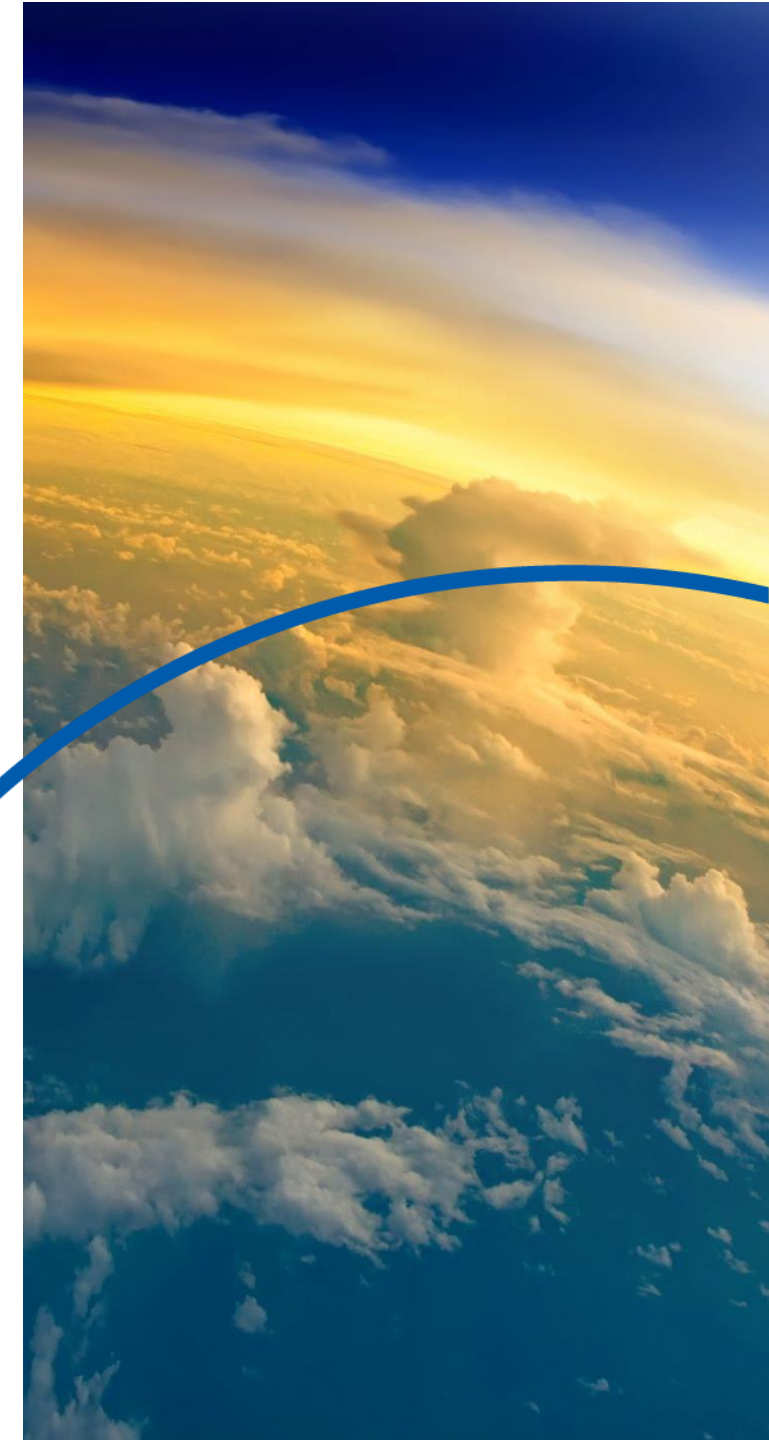


新CEOプレゼン資料

三菱ケミカルグループ
2024年5月15日

KAITEKI

For the well-being of people and the planet



経営方針「Forging the future 未来を拓く」のもとで築いた強固な経営基盤を活かし、企業価値向上に向けた改革を加速

- 新経営ビジョン「KAITEKI Vision 35」の策定
- グループ全体の事業ポートフォリオ方針の明確化
- 事業成長戦略の推進

構造改革、合理化を継続し、成長投資、グリーン化への取り組みを加速
石化事業の再編、スペシャリティマテリアルズ事業の選択と集中

KAITEKIの実現をリードする

グリーン・スペシャリティの化学会社 に「変身」

2024年3月期 決算説明

三菱ケミカルグループ
2024年5月15日

<2024年3月期 連結決算>

- ・ 決算サマリー
- ・ 連結損益計算書
- ・ 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益
- ・ コア営業利益 (全社) 増減要因
- ・ 事業セグメント別 コア営業利益増減分析
- ・ 非経常項目
- ・ 連結キャッシュ・フロー計算書
- ・ 連結財政状態計算書
- ・ 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移

<2025年3月期 通期業績予想>

- ・ 報告セグメントの変更
- ・ 業績予想 連結損益計算書
- ・ 業績予想 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益
- ・ 業績予想 コア営業利益 (全社) 増減要因
- ・ 配当予想

<参考資料①>

- 6 ・ 24/3月期 トピックス 26
- 7 ・ 関係会社数 29
- 8 ・ 海外売上収益及びコア営業利益推移 30
- 9 ・ 連結損益計算書 四半期別推移 31
- 10 ・ 新セグメントベース
事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移 32
- 15 ・ コア営業利益増減分析 33
- 16 ・ 非経常項目 四半期別推移 36
- 17 ・ 設備投資・減価償却費・研究開発費・従業員数 37
- 18 ・ スペシャルティマテリアルズ 成長投資計画 39
- ・ 事業セグメント別 EBITDAマージン推移 40
- ・ 連結財務指標の推移 42

<参考資料②>

- 22 ・ ヘルスケアセグメント 医薬品事業 研究開発の状況 等 46

<参考資料③>

- 24 ・ スペシャルティマテリアルズ 市場別動向 54

2024年3月期 決算

- 半導体関連市場や広く産業材等において需要が低調に推移したなか、スペシャリティマテリアルズ及びベーシックマテリアルズの販売数量が前期比で大きく減少した。産業ガス及びヘルスケアにおける北米ラジカヴァは好調を維持し、グループ全体では売上収益は前期比5%減収ながら、コア営業利益は前期ジレニア影響※を除き4%の増益となった。
- 価格マネジメントやコスト削減活動を精力的に進め、前期比での売買差改善及びコスト削減効果（1,006億円）を積み上げたことが、コア営業利益の増加につながった。
- ノンコア事業の売却や、運転資金削減活動の着実な進捗により、FCFは2,191億円と前期比で1,115億円増加した。

2025年3月期 業績予想

- スペシャリティマテリアルズ及びベーシックマテリアルズの事業環境の不透明感が継続し本格的な回復には時間がかかると見込まれるが、一部製品には需要回復の兆候もみられている。地域、製品により濃淡はあるも下期にかけて緩やかな回復を見込む。産業ガス及びヘルスケアは好調継続を想定する。引き続き、事業構造改革、価格マネジメント、コスト削減等の自助努力を推進する。
- 2025年3月期のコア営業利益は2024年3月期比で20%増益の2,500億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は、非経常利益を大きく計上した2024年3月期比で57%減となる520億円を予想する。

※ ヘルスケアセグメントにおいて多発性硬化症治療剤ジレニアのロイヤリティにかかる仲裁判断の結果を受け、2023年3月期第4四半期に一括で収益認識した影響（1,259億円）

連結損益計算書

	23/3月期 通期	24/3月期 通期	増減	増減率
為替レート (¥/\$)	136.0	145.3	9.3	7%
ナフサ単価 (¥/kl)	76,600	69,100	△ 7,500	△10%
			(億円)	
売上収益	46,345	43,872	△ 2,473	△5%
コア営業利益 *1	3,256	2,081	△ 1,175	△36%
非経常項目	△ 1,429	537	1,966	
営業利益	1,827	2,618	791	43%
税引前利益	1,680	2,405	725	43%
当期利益	1,355	1,784	429	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	964	1,196	232	24%
非支配持分に帰属する当期利益	391	588	197	
*1 内、持分法投資損益	119	76	△ 43	

コア営業利益は、営業利益（又は損失）から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出しております。

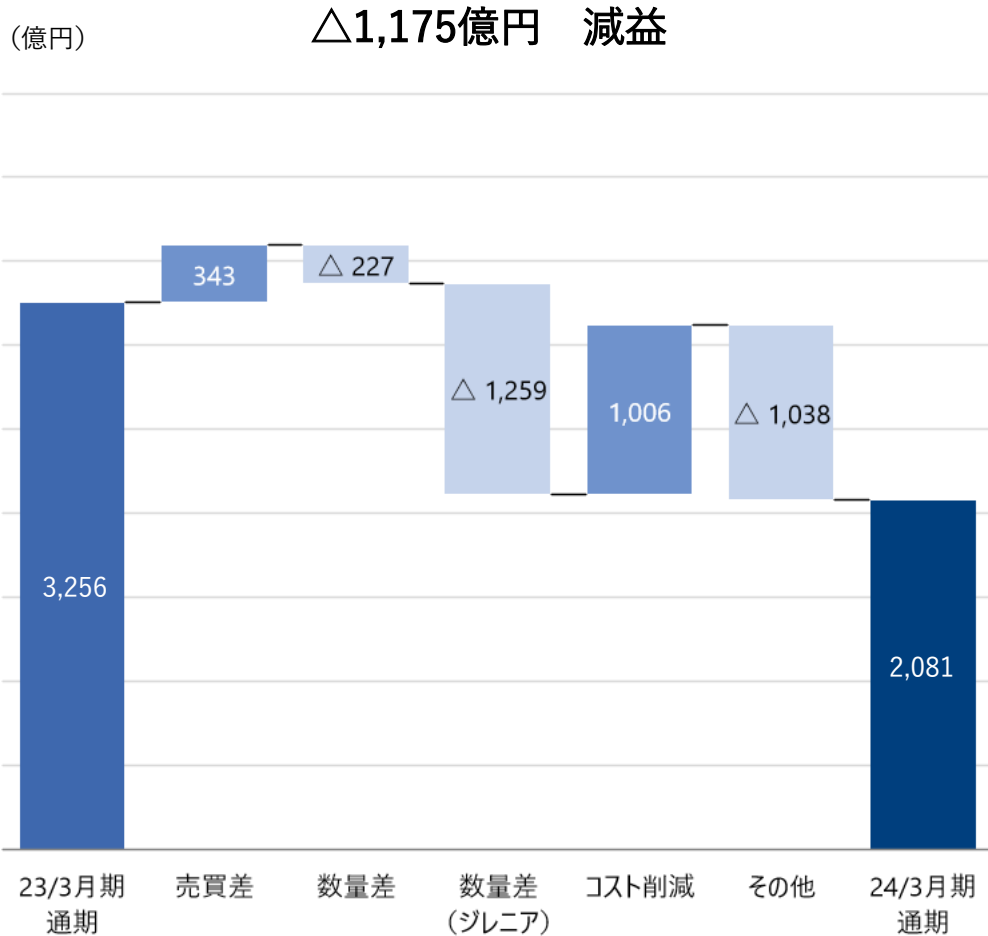
事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

(億円)

	23/3月期 通期		24/3月期 通期		増減			
	売上収益	コア営業利益	売上収益	コア営業利益	売上収益	増減率	コア営業利益	増減率
全社	46,345	3,256	43,872	2,081	△ 2,473	△5%	△ 1,175	△36%
スペシャリティマテリアルズ	12,337	515	11,729	53	△ 608	△5%	△ 462	△90%
ポリマーズ&コンパウンズ	3,387	262	3,188	175	△ 199		△ 87	
フィルムズ&モールディングマテリアルズ	5,177	180	4,913	△ 130	△ 264		△ 310	
アドバンスソリューションズ	3,773	73	3,628	8	△ 145		△ 65	
産業ガス	11,779	1,210	12,469	1,630	690	6%	420	35%
ヘルスケア	5,354	1,442	4,372	563	△ 982	△18%	△ 879	△61%
MMA	3,052	△ 40	2,816	8	△ 236	△8%	48	-
ベーシックマテリアルズ	11,218	121	10,086	△ 193	△ 1,132	△10%	△ 314	-
石化	7,537	25	7,049	0	△ 488		△ 25	
炭素	3,681	96	3,037	△ 193	△ 644		△ 289	
その他	2,605	8	2,400	20	△ 205	△8%	12	150%

【在庫評価損益】	23/3月期 通期	24/3月期 通期	増減
ポリマーズ&コンパウンズ	14	3	△ 11
石化	190	37	△ 153
炭素	△ 9	25	34
合計	195	65	△ 130

コア営業利益（全社） 増減要因

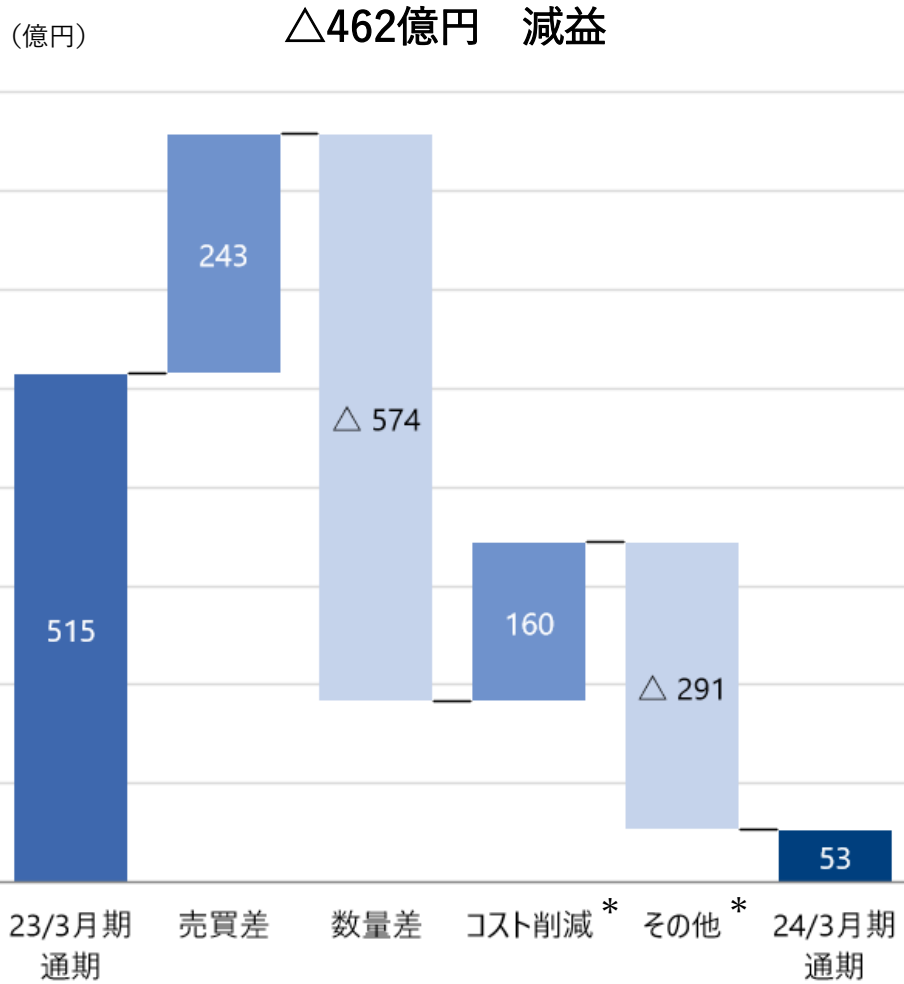


			(億円)				
	23/3月期 通期	24/3月期 通期	増減	売買差	数量差	コスト削減	その他 *1
全社	3,256	2,081	△ 1,175	343	△ 1,486	1,006	△ 1,038
スペシャルティマテリアルズ	515	53	△ 462	243	△ 574	160	△ 291
産業ガス	1,210	1,630	420	249	△ 40	308	△ 97
ヘルスケア	1,442	563	△ 879	△ 13	△ 876	336	△ 326
MMA	△ 40	8	48	△ 52	61	68	△ 29
ベーシックマテリアルズ	121	△ 193	△ 314	△ 82	△ 62	39	△ 209
その他	8	20	12	△ 2	5	95	△ 86

*1 在庫評価損益差△130億円・持分法投資損益差△43億円等の金額が含まれております。

為替影響	132	173	0	-	△ 41
うち換算差		126			

スペシャルティマテリアルズセグメント コア営業利益増減分析



ポリマーズ&コンパウンズ (△87)

売買差	(+) 販売価格の維持・向上による各種製品の売買差改善
数量差 (-)	(+) 自動車向け中心にバイオポリカーボネート新規採用拡大・増販 (-) グローバルでバリア包材や塗料・インキ・接着剤用途等の需要減退等による減販

フィルムズ&モールディングマテリアルズ (△310)

売買差	(+) 販売価格の維持・向上による各種製品の売買差改善
数量差	(-) グローバルでの需要減退に伴い、炭素繊維や高機能エンジニアリングプラスチック、一般用ポリエステルフィルム等の減販

アドバンスソリューションズ (△65)

売買差	(+) 販売価格の維持・向上による各種製品の売買差改善
数量差	(-) 半導体市場の調整局面継続。最先端プロセス向けは好調も、高機能薬液や精密洗浄サービスは総じて需要低調、減販

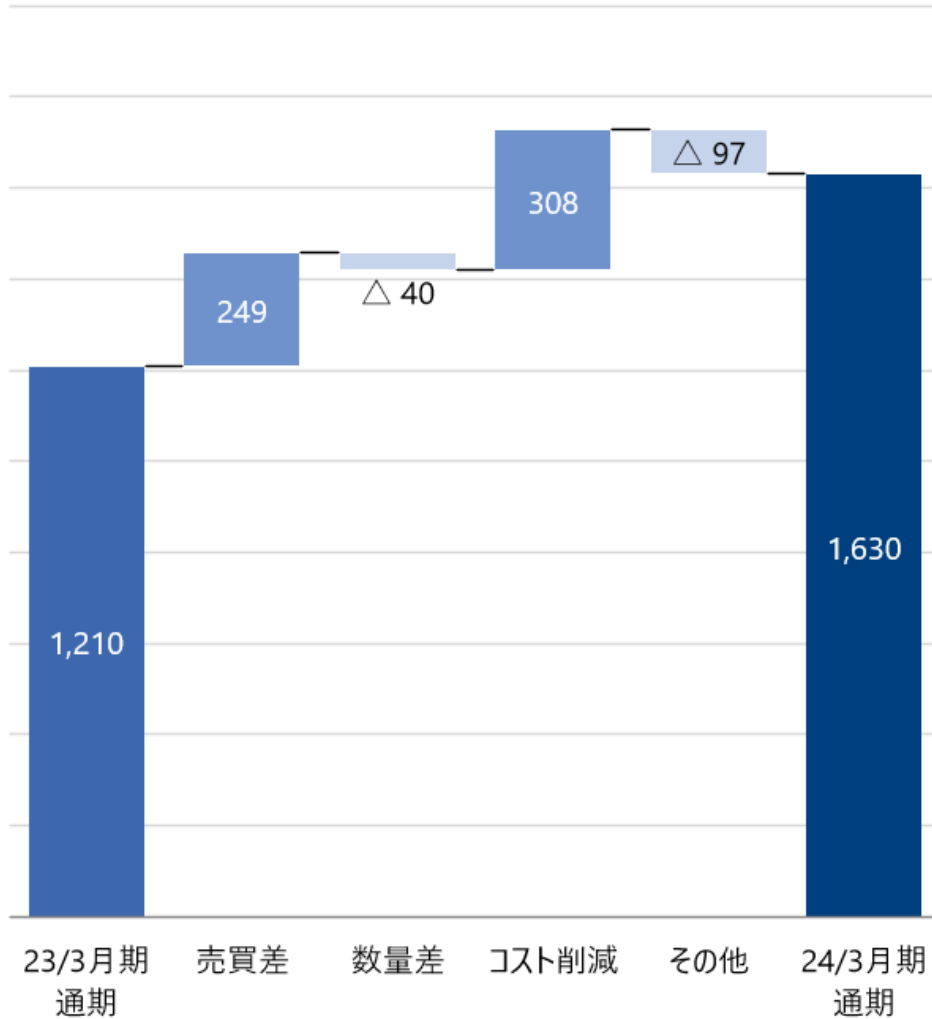
(※) コスト削減・その他内訳

コスト削減	(+) 事業構造改革、調達最適化、生産性向上等
その他	(-) 新製造ライン稼働等に伴う固定費の増加や、持分法投資利益の減少等

産業ガスセグメント コア営業利益増減分析

(億円)

+420億円 増益



産業ガス (+420)

売買差

(+) 各地域での価格マネジメントによる売買差改善

コスト削減

(+) DX活用、プラント操業最適化などの生産性向上活動

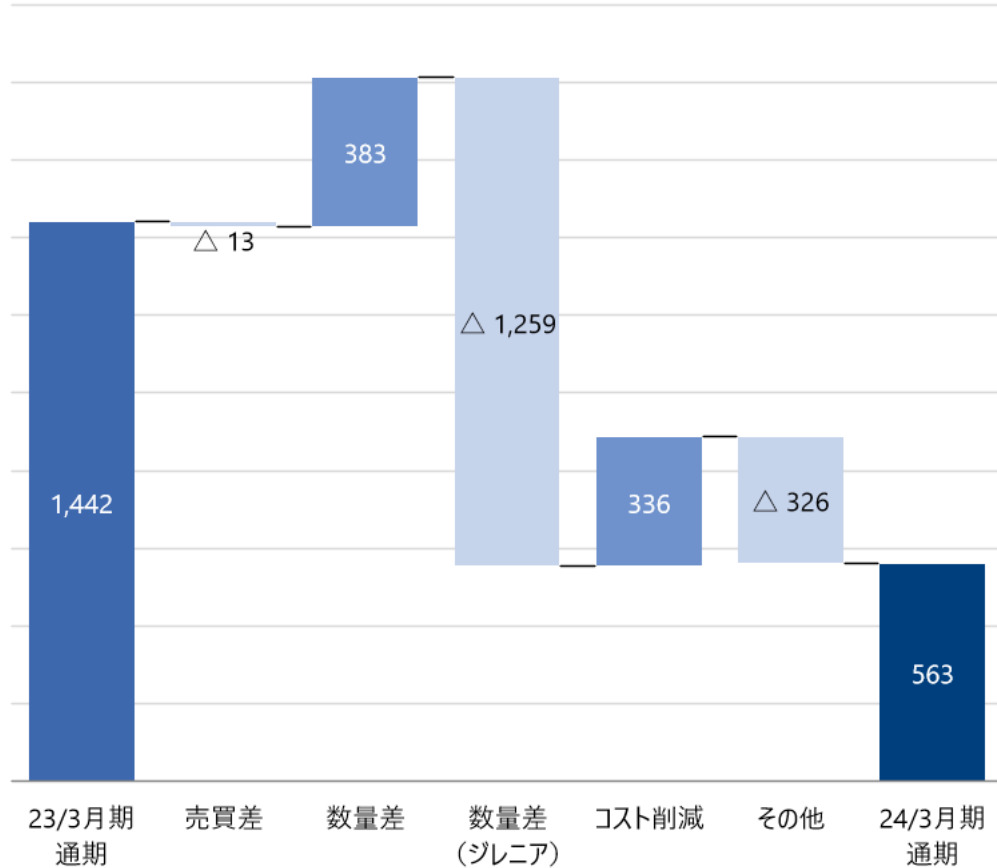
その他

(-) インフレによる費用の増加

ヘルスケアセグメント コア営業利益増減分析

(億円)

△879億円 減益



ヘルスケア (△879)

売買差

(-) 国内医療用医薬品の薬価改定等

数量差

(+) 北米でのALS治療薬ラジカヴァ経口剤の販売伸長
 (+) 国内医療用医薬品の重点品・新製品の販売堅調

コスト削減

(+) メディカゴ社の事業撤退による研究開発費の減少及びコスト構造改革の進捗

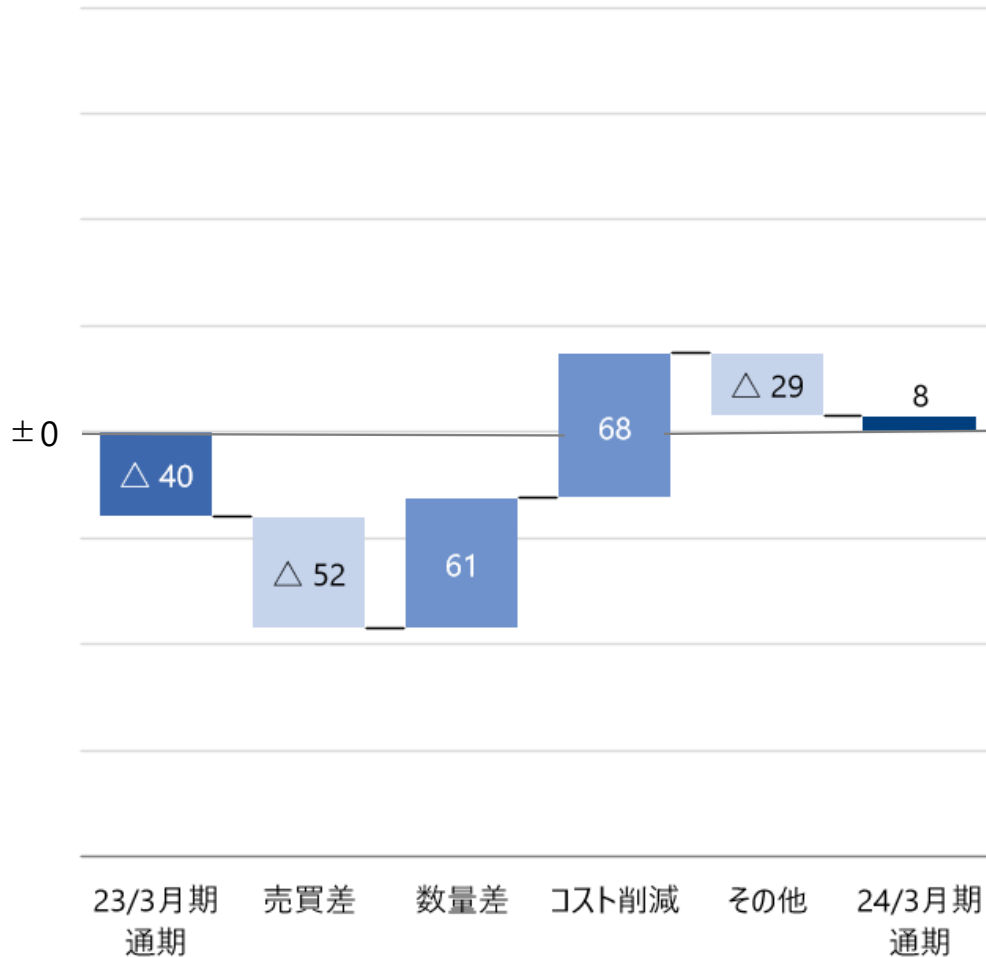
その他

(-) レクサプロの終売に伴う減益、新製品の上市に伴う販売費の増加、前期無形資産譲渡益影響 等

MMAセグメント コア営業利益増減分析

+48億円 増益

(億円)



MMA (+48)

売買差

(-) MMAモノマー等の市況の下落により、売買差悪化

数量差

(+) 定修規模縮小

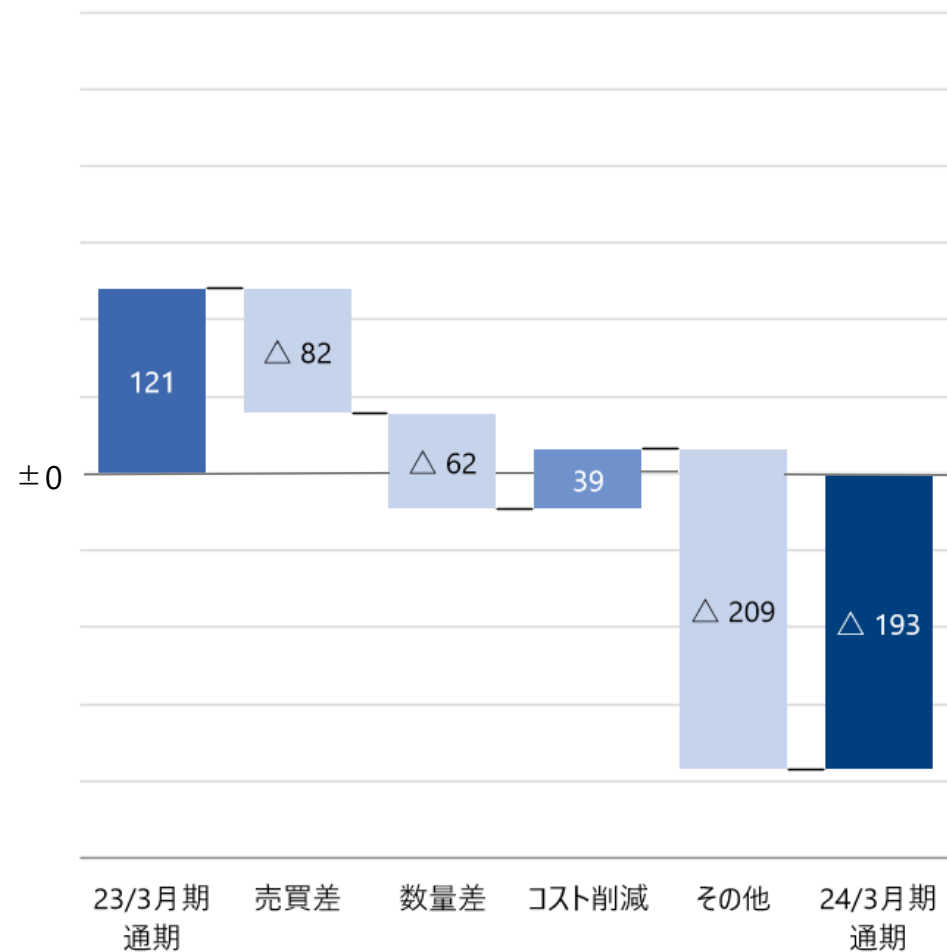
コスト削減

(+) 英国のキャッセル工場の閉鎖に伴うコスト削減

ベーシックマテリアルズセグメント コア営業利益増減分析

△314億円 減益

(億円)



石化 (△25)

売買差

(+) ポリオレフィンの価格改定時期ズレ

数量差
(-)

(+) 定修規模縮小

(-) 需要減退及びトラブルに伴う各製品の減産・減販

その他

(-) 原料価格下落に伴う在庫評価益の縮小

炭素 (△289)

売買差

(-) コークス市況の下落等による売買差悪化

数量差

(-) 需要減退に伴う各製品の減販

非経常項目

(億円)

	23/3月期 通期	24/3月期 通期	増減
非経常項目 合計	△ 1,429	537	1,966
関係会社株式売却益	33	365	332
段階取得に係る差益	-	270	270
工場閉鎖関連損失引当金戻入額	-	120	120
資産除去債務戻入益	-	47	47
債務免除益	-	38	38
減損損失	△ 934	△ 238	696
固定資産除売却損	△ 39	△ 97	△ 58
事業整理損失	△ 33	△ 48	△ 15
特別退職金	△ 106	△ 20	86
事業整理損失引当金繰入額	△ 57	△ 18	39
仲裁裁定に伴う損失	△ 35	△ 11	24
工場閉鎖関連損失引当金繰入額	△ 267	△ 1	266
その他	9	130	121

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	23/3月期 通期	24/3月期 通期
営業活動によるCF	3,552	4,651
税前損益	1,680	2,405
減価償却費	2,696	2,754
営業債権債務	58	△ 168
棚卸資産	△ 452	303
その他	△ 430	△ 643
投資活動によるCF	△ 2,476	△ 2,461
設備投資	△ 2,810	△ 2,745
資産売却	426	723
投融资 他	△ 92	△ 439
FCF	1,076	2,191

	23/3月期 通期	24/3月期 通期
財務活動によるCF	△ 608	△ 2,417
有利子負債	31	△ 1,666
配当 他	△ 639	△ 751
現金及び現金同等物の増減	468	△ 227
為替換算差等	46	204
合計	514	△ 23

連結財政状態計算書

(億円)

	23/3月末	24/3月末	増減
現金及び現金同等物	2,972	2,949	△ 23
営業債権	8,088	8,524	436
棚卸資産	7,979	7,992	13
その他	2,457	2,451	△ 6
流動資産合計	21,496	21,916	420
固定資産	23,671	25,244	1,573
のれん	7,277	8,329	1,052
投融資等	5,299	5,556	257
非流動資産合計	36,247	39,129	2,882
資産合計	57,743	61,045	3,302

(億円)

	23/3月末	24/3月末	増減
有利子負債	23,758	23,382	△ 376
営業債務	4,763	5,015	252
その他	9,338	9,893	555
負債合計	37,859	38,290	431
資本金・剰余金等	14,262	15,029	767
その他の資本の構成要素	1,384	2,606	1,222
親会社の所有者に帰属する持分	15,646	17,635	1,989
非支配持分	4,238	5,120	882
資本合計	19,884	22,755	2,871
負債・資本合計	57,743	61,045	3,302
ネット有利子負債 *1	20,786	20,433	△ 353
ネットD/Eレシオ	1.33	1.16	△ 0.17
ROE *2	6.4%	7.2%	0.8%

*1 ネット有利子負債(24/3月末)

=有利子負債23,382億円 - (現金・現金同等物2,949億円 + 手元運用資金残高-) 注) 有利子負債はリース負債を含む

*2 親会社所有者帰属持分当期利益率

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移

(億円)

	23/3月期					24/3月期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
全社	売上収益	11,065	11,633	11,364	12,283	46,345	10,612	10,887	10,952	11,421	43,872
	コア営業利益	721	505	553	1,477	3,256	508	688	643	242	2,081
スペシャルティマテリアルズ	売上収益	3,167	3,104	3,056	3,010	12,337	2,909	2,918	2,907	2,995	11,729
	コア営業利益	223	213	116	△ 37	515	92	79	2	△ 120	53
ポリマーズ&コンパウンズ	売上収益	873	833	840	841	3,387	794	812	798	784	3,188
	コア営業利益	72	92	54	44	262	71	58	34	12	175
フィルムズ&モールドディングマテリアルズ	売上収益	1,361	1,310	1,285	1,221	5,177	1,242	1,216	1,177	1,278	4,913
	コア営業利益	111	74	37	△ 42	180	16	△ 6	△ 38	△ 102	△ 130
アドバンスソリューションズ	売上収益	933	961	931	948	3,773	873	890	932	933	3,628
	コア営業利益	40	47	25	△ 39	73	5	27	6	△ 30	8
産業ガス	売上収益	2,739	2,954	2,971	3,115	11,779	3,068	3,014	3,142	3,245	12,469
	コア営業利益	295	248	300	367	1,210	398	405	422	405	1,630
ヘルスケア	売上収益	982	1,049	1,168	2,155	5,354	1,019	1,174	1,186	993	4,372
	コア営業利益	40	5	155	1,242	1,442	100	224	230	9	563
MMA	売上収益	878	790	693	691	3,052	690	694	687	745	2,816
	コア営業利益	28	20	△ 46	△ 42	△ 40	△ 9	26	△ 20	11	8
ベーシックマテリアルズ	売上収益	2,691	3,070	2,862	2,595	11,218	2,427	2,486	2,575	2,598	10,086
	コア営業利益	152	22	3	△ 56	121	△ 80	△ 46	22	△ 89	△ 193
石化	売上収益	1,775	2,030	1,961	1,771	7,537	1,575	1,772	1,861	1,841	7,049
	コア営業利益	58	33	△ 10	△ 56	25	△ 44	19	45	△ 20	0
炭素	売上収益	916	1,040	901	824	3,681	852	714	714	757	3,037
	コア営業利益	94	△ 11	13	0	96	△ 36	△ 65	△ 23	△ 69	△ 193
その他	売上収益	608	666	614	717	2,605	499	601	455	845	2,400
	コア営業利益	△ 17	△ 3	25	3	8	7	0	△ 13	26	20

* 24年3月期よりセグメントを、「スペシャルティマテリアルズ」、「産業ガス」、「ヘルスケア」、「MMA」、「ベーシックマテリアルズ」、「その他」へ変更しております。あわせて、一部の事業の所管セグメントを見直しており、比較情報としての23/3月期実績を組み替えております。

* セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

2025年3月期 通期業績予想

報告セグメントの変更

2024年4月1日付の組織改正に伴い、2025年3月期以降の報告セグメントを下記の通り変更いたします。

旧報告セグメント（～24/3月期）

(億円)

	24/3月期	
	売上収益	コア営業利益
全社	43,872	2,081
スペシャリティマテリアルズ	11,729	53
ポリマーズ&コンパウンズ	3,188	175
フィルムズ&モールディングマテリアルズ	4,913	△130
アドバンストソリューションズ	3,628	8
産業ガス	12,469	1,630
ヘルスケア	4,372	563
MMA	2,816	8
ベーシックマテリアルズ	10,086	△193
石化	7,049	0
炭素	3,037	△193
その他	2,400	20

- ① パフォーマンスポリマーズ、ソアノール、ゴーセノール
- ② パッケージング、工業・メディカルフィルム、アセチルフィルム、ポリエステルフィルム、繊維
- ③ アクアソリューション、ライフソリューション、インフラソリューション
半導体、エレクトロニクス、電池材料

新報告セグメント（25/3月期～）

(億円)

	24/3月期	
	売上収益	コア営業利益
全社	43,872	2,081
スペシャリティマテリアルズ	10,504	74
① アドバンストフィルムズ&ポリマーズ	4,657	174
② アドバンストソリューションズ	3,629	20
④ アドバンストコンポジット&シェイプス	2,218	△120
産業ガス	12,469	1,630
ファーマ	4,372	563
MMA&デリバティブズ	3,684	19
MMA	2,816	7
⑤ コーティング&アディティブス	868	12
ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ	10,795	△217
⑥ マテリアルズ&ポリマーズ	7,758	△23
炭素	3,037	△194
その他(*)	2,048	12

- ④ エンジニアードシェイプ&ソリューション、炭素繊維・複合材料
- ⑤ コーティング材、添加剤・ファイン
- ⑥ サステナブルポリマーズ、エンジニアリングプラスチック
- ⑦ 石化基盤、ポリオレフィン、基礎化学品
- (*) 一部商社機能を各セグメントへ

業績予想 連結損益計算書

	145.3	150.0	150.0	150.0	4.7	
為替レート (¥/\$)						
ナフサ単価 (¥/kl)	69,100	75,000	75,000	75,000	5,900	
					(億円)	
	24/3月期 実績	上期	下期	25/3月期 予想	増減	増減率
売上収益	43,872	22,510	23,720	46,230	2,358	5%
コア営業利益	2,081	1,100	1,400	2,500	419	20%
非経常項目	537	△ 260	△ 140	△ 400	△ 937	
営業利益	2,618	840	1,260	2,100	△ 518	△20%
税引前利益	2,405	660	1,050	1,710	△ 695	△29%
当期利益	1,784	420	740	1,160	△ 624	△35%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,196	100	420	520	△ 676	△57%
非支配持分に帰属する当期利益	588	320	320	640	52	

業績予想 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

(億円)

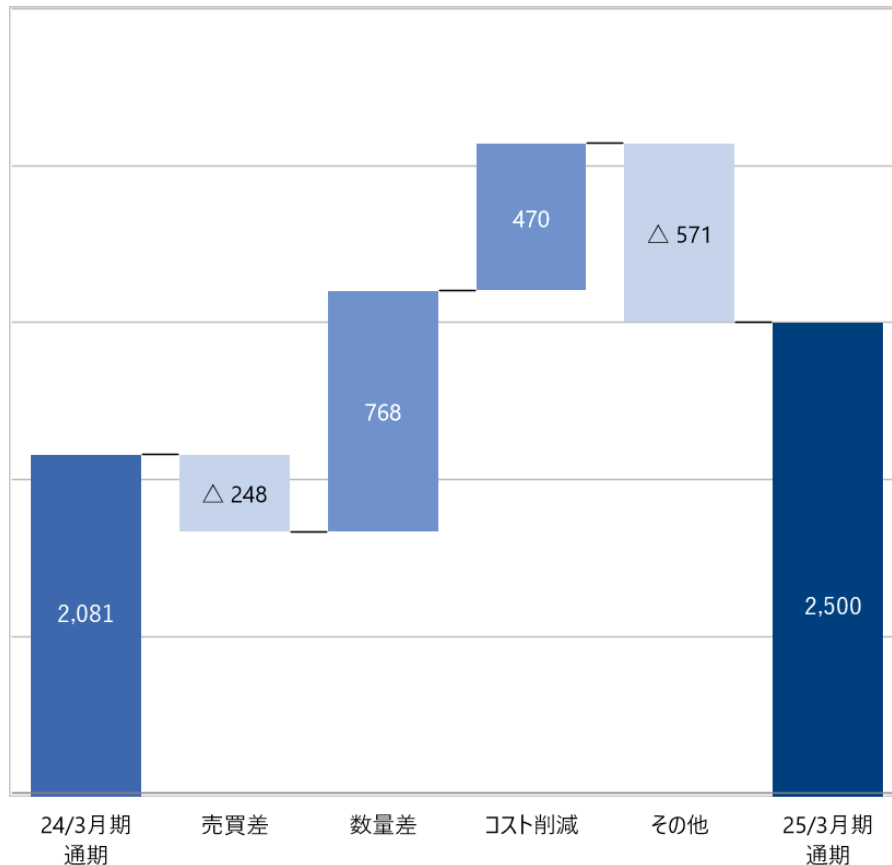
		24/3月期 実績	25/3月期		増減	
			上期	下期		
全社	売上収益	43,872	22,510	23,720	46,230	2,358
	コア営業利益	2,081	1,100	1,400	2,500	419
スペシャルティマテリアルズ	売上収益	10,504	5,510	5,780	11,290	786
	コア営業利益	74	100	140	240	166
アドバンスフィルムズ&ポリマーズ	売上収益	4,657	2,400	2,480	4,880	223
	コア営業利益	174	100	100	200	26
アドバンスソリューションズ	売上収益	3,629	1,800	1,920	3,720	91
	コア営業利益	20	10	30	40	20
アドバンスコンポジット&シェイプス	売上収益	2,218	1,310	1,380	2,690	472
	コア営業利益	△ 120	△ 10	10	0	120
産業ガス	売上収益	12,469	6,460	6,460	12,920	451
	コア営業利益	1,630	870	870	1,740	110
ファーマ	売上収益	4,372	2,200	2,290	4,490	118
	コア営業利益	563	220	200	420	△ 143
MMA&デリバティブズ	売上収益	3,684	1,940	1,920	3,860	176
	コア営業利益	19	70	90	160	141
MMA	売上収益	2,816	1,490	1,450	2,940	124
	コア営業利益	7	60	80	140	133
コーティング&アディティブス	売上収益	868	450	470	920	52
	コア営業利益	12	10	10	20	8
ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ	売上収益	10,795	5,520	6,210	11,730	935
	コア営業利益	△ 217	△ 130	90	△ 40	177
マテリアルズ&ポリマーズ	売上収益	7,758	3,990	4,320	8,310	552
	コア営業利益	△ 23	10	80	90	113
炭素	売上収益	3,037	1,530	1,890	3,420	383
	コア営業利益	△ 194	△ 140	10	△ 130	64
その他	売上収益	2,048	880	1,060	1,940	△ 108
	コア営業利益	12	△ 30	10	△ 20	△ 32

* セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

コア営業利益（全社） 増減要因

増販/コスト削減等により、前期実績を約400億円上回るコア営業利益実現を見込む

(億円)



売買差
(-)

- (+) MMA/ベーシックマテリアルズ等の市況改善
- (-) ファーマにおける薬価改定影響
- (-) 産業ガスにおける主に海外でのインフレによるコスト上昇

数量差

- (+) スペシャルティマテリアルズの需要回復に伴う増販

コスト削減

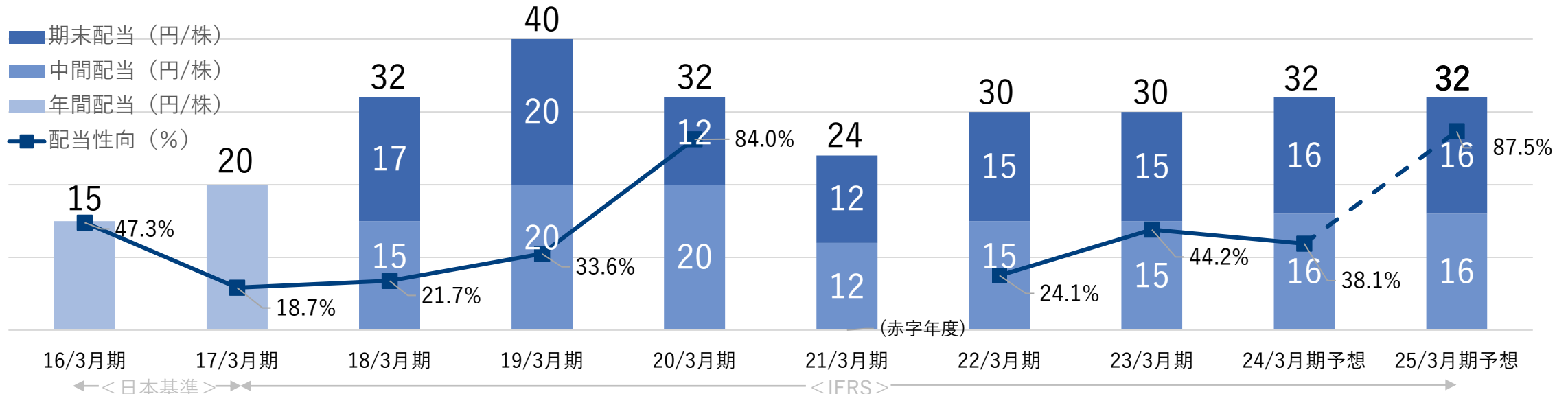
- (+) 産業ガスを中心としたコスト構造改革の成果実現

その他

- (-) 在庫評価益の前期比縮小
- (-) 人件費をはじめとする固定費の増加
- (-) ファーマにおける新製品の上市に向けた準備費用

配当予想

- 当社は、企業価値の向上を通して株主価値の向上を図ることを株主還元の基本方針としております。
- 配当につきましては、今後の事業展開の原資である内部留保の充実を考慮しつつ、経営方針「Forging the future 未来を拓く」に基づく26/3月期までの実行計画において、前期比での配当増加及び26/3月期の配当性向35%を目標としております。
- 上記の方針に基づき、24/3月期の1株当たり期末配当金予想額は前回発表予想の通り16円として、5月20日の取締役会において決議予定です。
- 25/3月期の配当予想につきましては、第2四半期末及び期末の1株当たり配当金を、24/3月期の期末配当と同額の16円といたします。これにより、25/3月期における1株当たり年間配当予想は32円となります。
- 今後の配当方針につきましては、今秋の事業説明会に向けて、新たな成長戦略及びキャピタル・アロケーション方針に基づいて検討の上、公表させていただく予定です。



参考資料①

スペシャリティマテリアルズ

- Neogen Chemical Limitedと、インドにおけるリチウムイオン二次電池（LIB）用電解液の製造技術ライセンス供与に関する契約を締結しました。また、フッ素ケミカルメーカーのKoura社と、北米におけるLIB用電解液のサプライチェーン強化などに向けた協業検討を実施する覚書を締結しました。
- 韓国のLIB用正極材メーカーL&F Co., Ltd. と、米国FTA締結国におけるLIB用負極材のサプライチェーン強化などに向けた協業検討を実施する覚書を締結しました。
- 炭素繊維事業の強化に向け、炭素繊維強化プラスチック製の自動車部材メーカーである持分法適用会社のC.P.C. S.r.l.の全株式を取得することを2023年10月に決定し、2024年1月に完了しました。このたびの全株式取得により、垂直統合したサプライチェーンの強化・拡大を図り、当事業の長期的な成長を加速していきます。
- 高品質な食品の世界的な需要拡大に 대응するため、乳化剤「シュガーエステル」について、2024年3月に稼働した九州事業所の製造設備（生産能力：2,000 t／年）に加え、新ライン（生産能力：1,100 t／年）を増設することを同年3月に決定しました。新ラインの稼働は、2026年3月を予定しています。

産業ガス

- ベルギーにおいて、Terranova nvとLuminusとともに、グリーン水素を製造する合弁会社Terranova Hydrogen NVを設立し、グリーン水素製造プラントを建設し、運営します。製造開始は2025年初頭を予定しています。
- 1 PointFive社と、同社がテキサス州に建設するDAC（Direct Air Capture）プラント向け酸素供給契約を締結しました。2025年半ばの操業開始を予定しています。
- 大陽日酸系統科技股份有限公司に2023年11月に新工場を建設し、エレクトロニクス向け機器事業拡大に向け製作能力を約2倍に増強しました。

ヘルスケア

- エダラボン経口懸濁剤（開発コード：MT-1186）について、筋萎縮性側索硬化症（ALS）を適応症として、2023年5月にスイス（製品名：「RADICAVA® Oral Suspension」）で承認を取得しました。同剤は、米国・カナダ・日本で既に承認されています。
- SGLT2阻害剤「カナグル錠® 100mg」（一般名：カナグリフロジン水和物）について、口腔内崩壊錠（OD錠）の剤形追加承認を日本において2024年3月に取得しました。

MMA

- MMA及びアクリロニトリル事業の供給体制を最適化し、競争力を強化するため、広島事業所で生産しているACH法MMAモノマー（生産能力：107,000 t／年）、アクリロニトリル（生産能力：90,000 t／年）及びアクリロニトリル誘導品について、生産終了することを2024年2月に決定しました。同年7月より対象製品の生産を停止する予定です。

ベーシックマテリアルズ

- LIBや半導体の需要拡大に対応するため、岡山事業所において γ -ブチロラク톤の生産能力を、現在の18,000 t／年から20,000 t／年に増強することを決定しました。2024年7月の稼働を予定しています。
- ポートフォリオ改革の一環として、当社グループが保有する高純度テレフタル酸（PTA）事業を行うPT Mitsubishi Chemical Indonesia（MCCI）の株式を、PT Lintas Citra Pratamaに譲渡することを2023年12月に決定しました。これに伴い、当社グループのMCCIの株式保有比率は20%となる予定です。今後段階的に売却し、MCCIは将来的にPT Lintas Citra Pratamaの100%子会社となる予定です。
- ビスフェノールAの供給体制を最適化し、事業の競争力を強化するため、黒崎工場における生産を2024年3月末に終了しました（生産能力：120,000 t／年）。

その他

- ポートフォリオ改革の一環として、当社グループが保有するクオリカプス株式会社の全株式を、Roquette Frères SAへ譲渡することで同社と合意し、2023年7月28日付で株式譲渡契約を締結し、同年10月に譲渡を完了しました。

	(会社数)				
	20/3月期	21/3月期	22/3月期	23/3月期	24/3月期
関係会社合計	698	666	625	593	552
連結会社合計	659	630	590	556	524
連結子会社	510	487	448	422	390
国内	174	161	156	144	136
海外	336	326	292	278	254
ジョイント・オペレーション	4	4	4	3	4
持分法適用会社	145	137	137	131	130
売却目的保有資産に分類しているため 持分法を適用していない会社	-	2	1	-	-

海外売上収益及びコア営業利益推移

(億円)

	20/3月期	21/3月期	22/3月期	23/3月期		24/3月期
所在地別						
売上収益	35,805	32,575	39,769	46,345	(除、ジレニア影響) 45,086	43,872
国内	23,678	21,095	25,265	28,626	27,367	25,537
海外	12,127	11,480	14,504	17,719	17,719	18,335
コア営業利益	1,948	1,747	2,723	3,256	1,997	2,081
国内	995	925	1,597	1,973	714	187
海外	953	822	1,126	1,283	1,283	1,894
向先別						
海外売上収益	15,344	14,649	18,606	23,153	21,894	21,997
	42.9%	45.0%	46.8%	50.0%	48.6%	50.1%

連結損益計算書 四半期別推移



為替レート (¥/\$)	131.3	139.4	139.9	133.4	136.0	139.6	145.6	146.1	149.9	145.3
ナフサ単価 (¥/kl)	86,100	81,400	72,500	66,500	76,600	67,500	63,600	72,800	72,500	69,100

(億円)

	23/3月期					24/3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上収益	11,065	11,633	11,364	12,283	46,345	10,612	10,887	10,952	11,421	43,872
コア営業利益 *1	721	505	553	1,477	3,256	508	688	643	242	2,081
非経常項目	△ 41	△ 1	△ 1,251	△ 136	△ 1,429	189	1	96	251	537
営業利益(△損失)	680	504	△ 698	1,341	1,827	697	689	739	493	2,618
金融収益・費用	71	△ 35	△ 130	△ 53	△ 147	△ 9	△ 75	△ 123	△ 6	△ 213
(内、受取配当金)	(78)	(2)	(11)	(32)	(123)	(46)	(1)	(13)	(2)	(62)
(内、為替差損益)	(37)	(30)	(△ 64)	(△ 4)	(△ 1)	(45)	(27)	(△ 42)	(45)	(75)
税引前利益(△損失)	751	469	△ 828	1,288	1,680	688	614	616	487	2,405
法人所得税	△ 218	△ 87	361	△ 381	△ 325	△ 130	△ 231	△ 114	△ 146	△ 621
当期利益(△損失)	533	382	△ 467	907	1,355	558	383	502	341	1,784
親会社の所有者に帰属する 当期利益(△損失)	449	290	△ 569	794	964	425	247	367	157	1,196
非支配持分に帰属する当期利益	84	92	102	113	391	133	136	135	184	588
*1 内、持分法投資損益	40	32	27	20	119	27	15	23	11	76

新セグメントベース

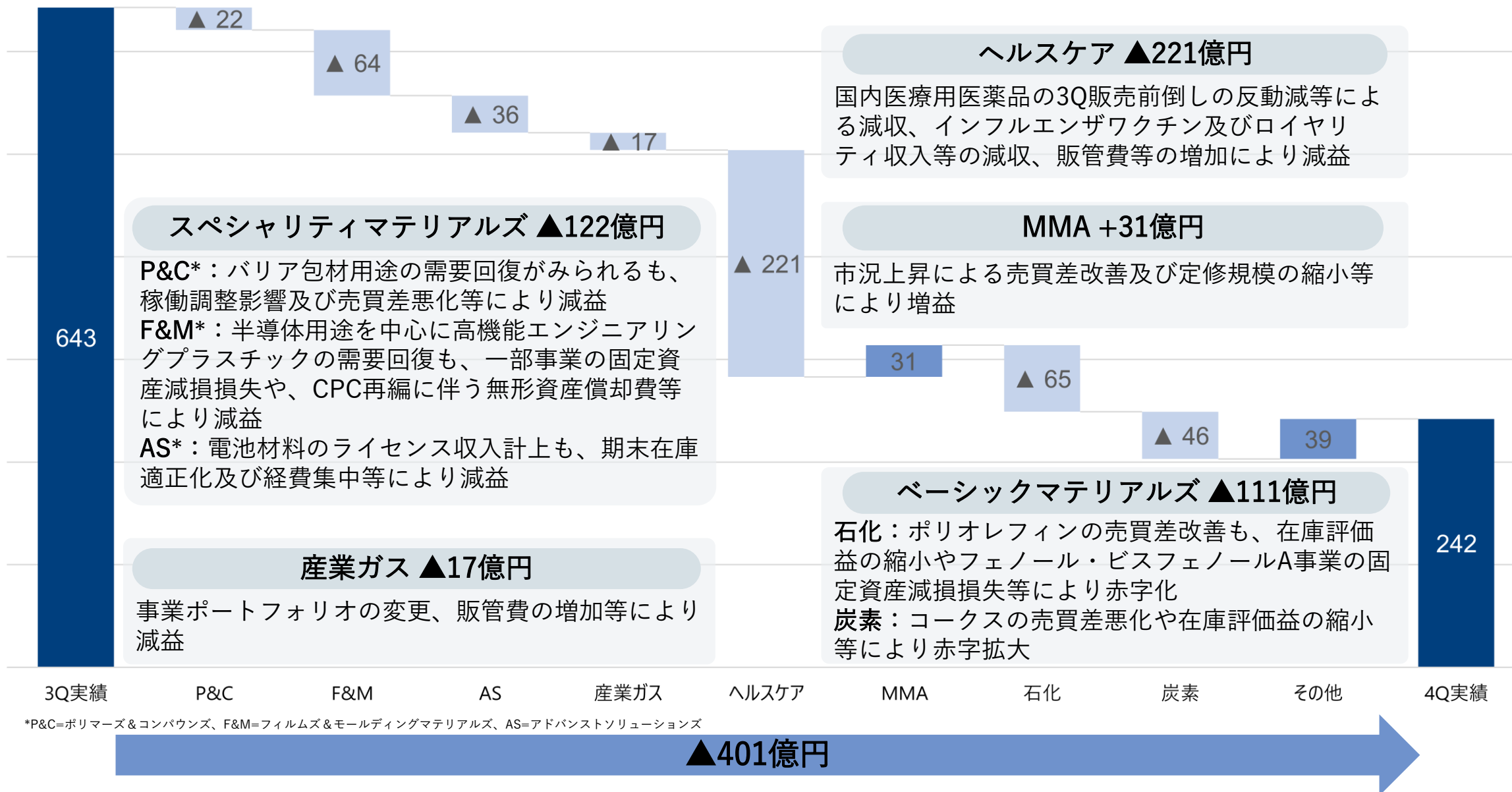
事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移

(億円)

		24/3月期					
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
全社		売上収益	10,612	10,887	10,952	11,421	43,872
		コア営業利益	508	688	643	242	2,081
スペシャリティマテリアルズ		売上収益	2,644	2,591	2,584	2,685	10,504
		コア営業利益	104	85	5	△ 120	74
アドバンスフィルムズ&ポリマーズ		売上収益	1,199	1,173	1,153	1,132	4,657
		コア営業利益	88	75	38	△ 27	174
アドバンスソリューションズ		売上収益	887	888	926	928	3,629
		コア営業利益	9	24	9	△ 22	20
アドバンスコンポジット&シェイプス		売上収益	558	530	505	625	2,218
		コア営業利益	7	△ 14	△ 42	△ 71	△ 120
産業ガス		売上収益	3,068	3,014	3,142	3,245	12,469
		コア営業利益	401	402	422	405	1,630
ファーマ		売上収益	1,019	1,174	1,186	993	4,372
		コア営業利益	100	224	230	9	563
MMA&デリバティブズ		売上収益	901	912	908	963	3,684
		コア営業利益	△ 7	27	△ 16	15	19
MMA		売上収益	690	694	687	745	2,816
		コア営業利益	△ 9	25	△ 19	10	7
コーティング&アディティブス		売上収益	211	218	221	218	868
		コア営業利益	2	2	3	5	12
ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ		売上収益	2,574	2,680	2,764	2,777	10,795
		コア営業利益	△ 92	△ 52	19	△ 92	△ 217
マテリアルズ&ポリマーズ		売上収益	1,722	1,966	2,050	2,020	7,758
		コア営業利益	△ 56	13	43	△ 23	△ 23
炭素		売上収益	852	714	714	757	3,037
		コア営業利益	△ 36	△ 65	△ 24	△ 69	△ 194
その他		売上収益	406	516	368	758	2,048
		コア営業利益	2	2	△ 17	25	12

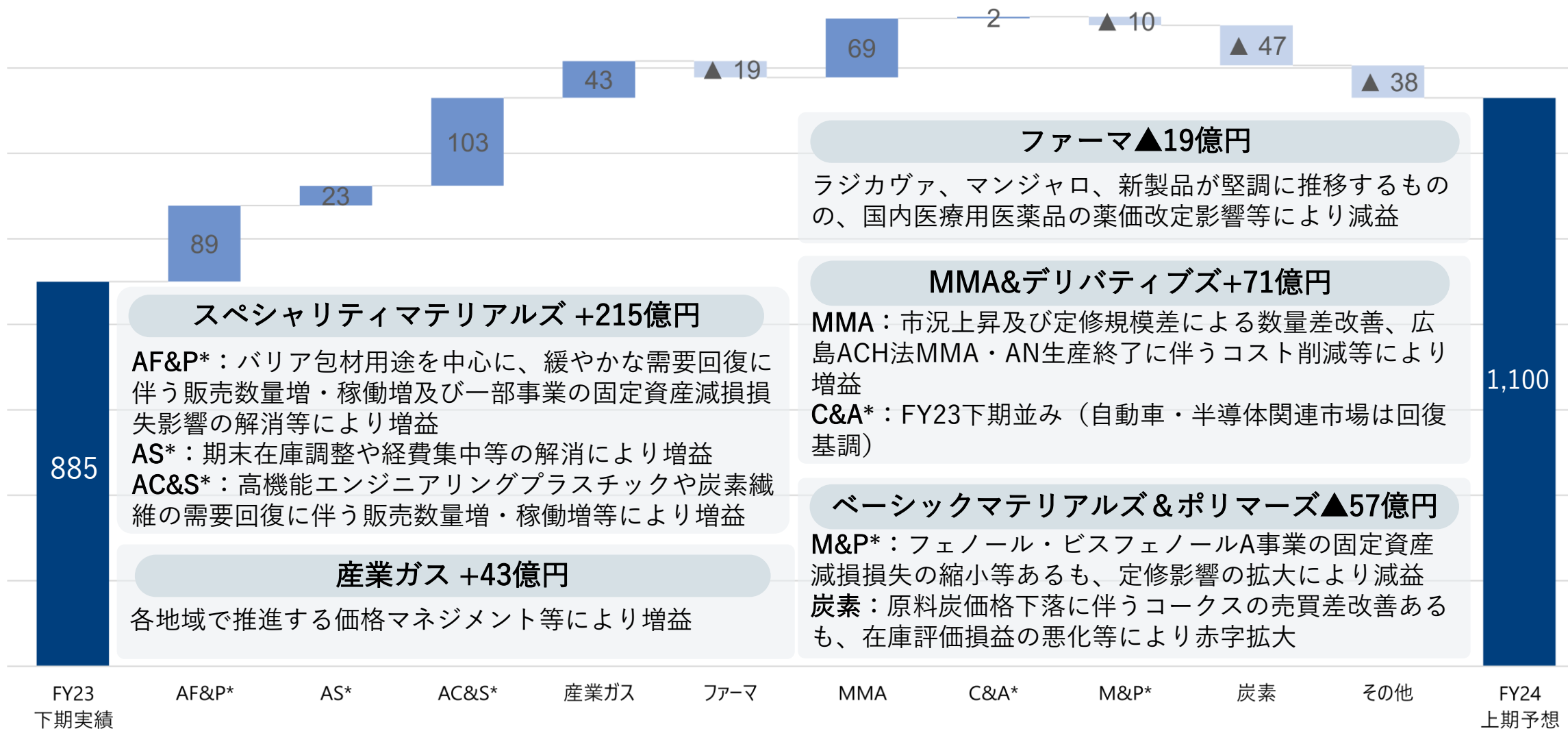
* セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

コア営業利益増減分析 (3Q→4Q)



*P&C=ポリマーズ&コンパウンズ、F&M=フィルムズ&モールドディングマテリアルズ、AS=アドバンスソリューションズ

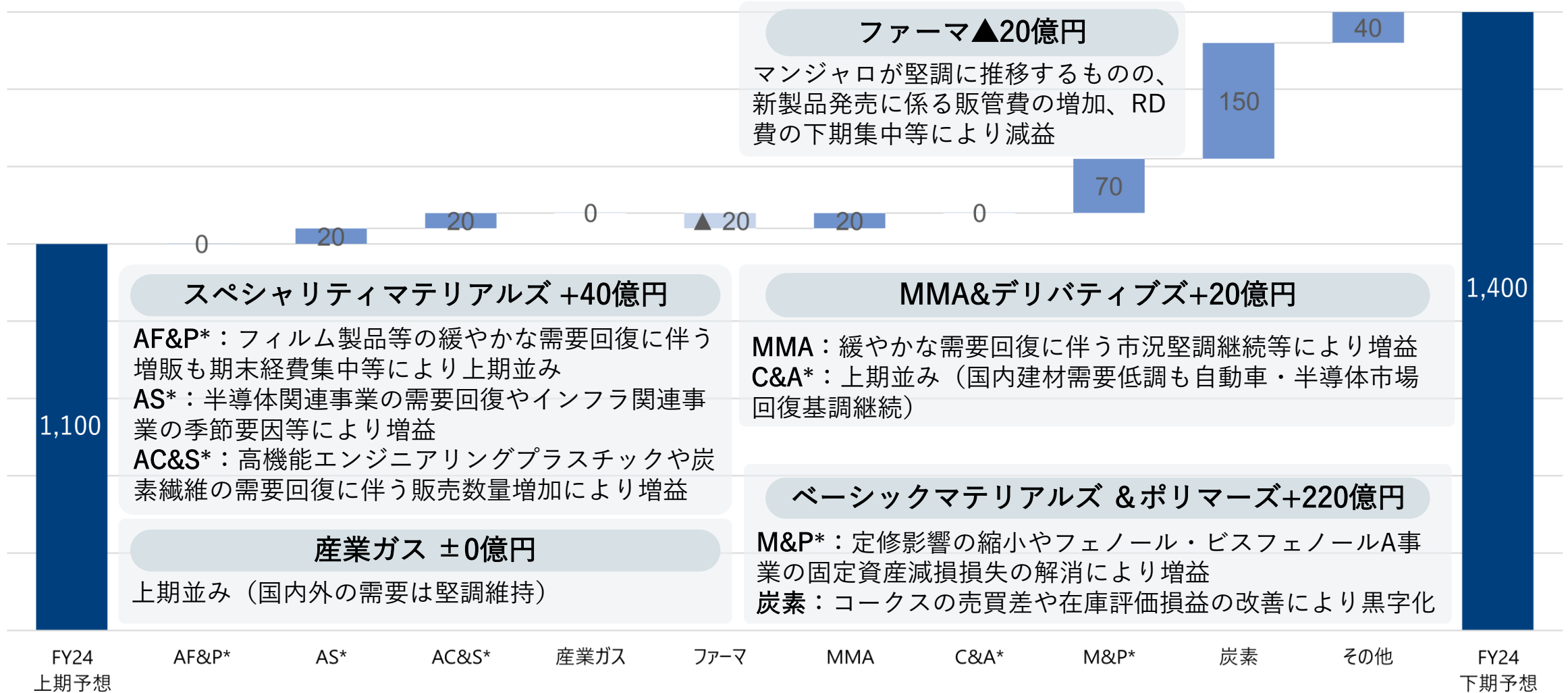
コア営業利益増減分析 (FY23下期→FY24上期)



*AF&P=アドバンスフィルムズ&ポリマーズ、AS=アドバンスソリューションズ、AC&S=アドバンスコンポジット&シェイプス、C&A=コーティング&アディティブス、M&P=マテリアルズ&ポリマーズ

+215億円

コア営業利益増減分析 (FY24上期→FY24下期)



*AF&P=アドバンスフィルムズ&ポリマーズ、AS=アドバンスソリューションズ、AC&S=アドバンスコンポジット&シェイプス、C&A=コーティング&アディティブス、M&P=マテリアルズ&ポリマーズ

+300億円

非経常項目 四半期別推移

	23/3月期					24/3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
非経常項目 合計	△ 41	△ 1	△ 1,251	△ 136	△ 1,429	189	1	96	251	537
関係会社株式売却益	-	-	22	11	33	56	18	202	89	365
段階取得に係る差益	-	-	-	-	-	-	-	-	270	270
工場閉鎖関連損失引当金戻入額	-	-	-	-	-	-	-	64	56	120
資産除去債務戻入益	-	-	-	-	-	-	26	-	21	47
債務免除益	-	-	-	-	-	-	5	-	33	38
減損損失	△ 2	△ 17	△ 858	△ 57	△ 934	△ 0	△ 32	△ 105	△ 101	△ 238
固定資産除売却損	△ 2	△ 12	△ 10	△ 15	△ 39	△ 11	△ 2	△ 11	△ 73	△ 97
事業整理損失	△ 1	△ 0	△ 6	△ 26	△ 33	△ 20	△ 7	△ 15	△ 6	△ 48
特別退職金	△ 0	△ 0	△ 43	△ 63	△ 106	△ 2	△ 2	△ 8	△ 8	△ 20
事業整理損失引当金繰入額	-	-	-	△ 57	△ 57	△ 4	△ 1	△ 12	△ 1	△ 18
仲裁裁定に伴う損失	△ 34	△ 1	△ 0	0	△ 35	-	△ 3	-	△ 8	△ 11
工場閉鎖関連損失引当金繰入額	-	-	△ 312	45	△ 267	-	-	-	△ 1	△ 1
その他	△ 2	29	△ 44	26	9	170	△ 1	△ 19	△ 20	130

設備投資・減価償却費・研究開発費・従業員数（24年3月期実績）

	(億円)						(人)
	設備投資		減価償却費		研究開発費		従業員数
	23/3月期 実績	24/3月期 実績	23/3月期 実績	24/3月期 実績	23/3月期 実績	24/3月期 実績	24/3月期 期末
スペシャリティマテリアルズ	803	917	655	682	303	318	25,127
産業ガス	966	1,263	1,081	1,148	35	45	19,540
ヘルスケア	292	51	135	138	878	629	5,577
MMA	222	210	242	234	41	33	2,458
ベーシックマテリアルズ	451	323	415	414	69	79	5,926
その他	87	75	168	138	169	112	7,730
全社	2,821	2,839	2,696	2,754	1,495	1,216	66,358

設備投資・減価償却費・研究開発費（25年3月期予想）

(億円)

	設備投資		減価償却費		研究開発費	
	24/3月期 実績	25/3月期 予想	24/3月期 実績	25/3月期 予想	24/3月期 実績	25/3月期 予想
スペシャリティマテリアルズ	820	1,010	631	670	280	290
産業ガス	1,263	1,640	1,148	1,150	45	50
ファーマ	51	100	138	160	629	650
MMA&デリバティブズ	272	190	271	260	68	70
ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ	358	490	428	360	82	100
その他	75	80	138	130	112	130
全社	2,839	3,510	2,754	2,730	1,216	1,290

スペシャリティマテリアルズ 成長投資計画

	24/3月期	25/3月期	26/3月期以降
アドバンスト フィルムズ & ポリマーズ	ポリエステルフィルム能増 インドネシア (2023年4月、25,000t)	ゴーセノール特殊銘柄能増 日本 (2024年10月)	ソアノール能増 イギリス (2026年度上期、21,000t)
		ポリエステルフィルム能増 ドイツ (2025年初頭、27,000t)	
アドバンストソ リューションズ	低膨張天然系負極材能増 中国 (2023年9月、2,000t)	半導体封止材・電子材料向け 特殊エポキシ樹脂能増 (半導体需要回復に応じて稼働予定)	乳化剤能増 日本 (2026年3月、1,100t)
	半導体精密洗浄能増 ドイツ (2023年11月)	電解液能増 日本・イギリス (日本：2024年10月完工、4,000t) (イギリス：2024年9月完工、3,750t)	電解液能増 アメリカ (2025年7月完工、19,000t)
	乳化剤能増 日本 (2024年3月、2,000t)		
アドバンスト コンポジット & シェイプス	炭素繊維複合材料 CPC社の全株式取得 イタリア (2024年1月)		炭素繊維複合材 大型プレス成形機増設 イタリア (2025年中)

凡例

案件名
(商業生産開始 (予定) 年月、生産能力)

事業セグメント別 EBITDAマージン推移

	23/3月期 *1	24/3月期	26/3月期 目標 *2
全社	10.1%	10.8%	15.0%
スペシャリティマテリアルズ	9.0%	6.1%	16.0%
産業ガス	19.1%	22.0%	24.0%
ヘルスケア	7.7%	15.9%	15.0%
MMA	6.4%	8.2%	15.0%
ベーシックマテリアルズ	4.6%	2.2%	5.0%

EBITDA：コア営業利益－コア営業利益に含まれる持分法による投資損益＋減価償却費及び償却費

*1 ジレニアの仲裁判断の結果を控除して算定した23年3月期のEBITDAマージン

(含めて算定したEBITDAマージンは、全社 12.6%、ヘルスケア 29.4%)

*2 石化事業100%保有ケース

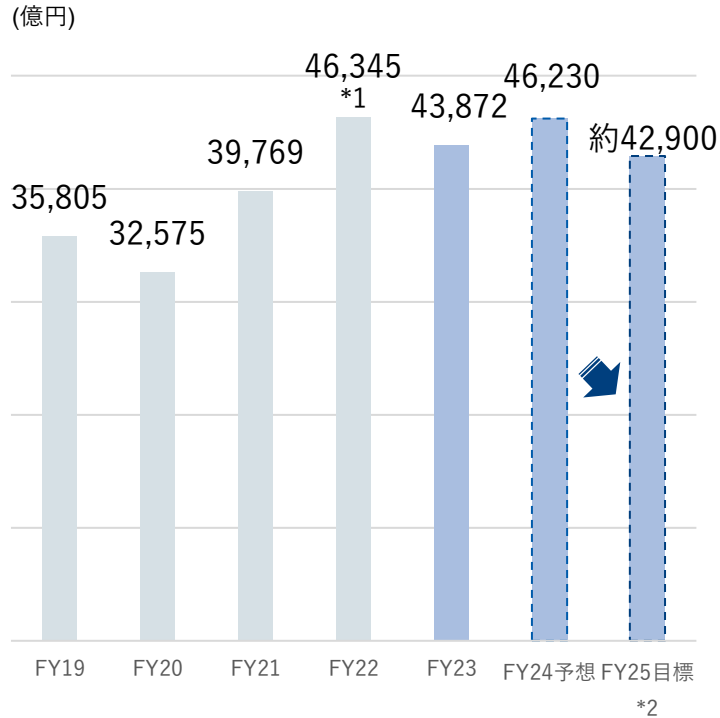
事業セグメント別 EBITDAマージン推移

	24/3月期	25/3月期 予想
全社	10.8%	11.2%
スペシャリティマテリアルズ	6.6%	8.0%
産業ガス	22.0%	22.1%
ファーマ	15.9%	12.9%
MMA&デリバティブズ	7.4%	10.4%
ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ	2.0%	2.7%

EBITDA：コア営業利益－コア営業利益に含まれる持分法による投資損益＋減価償却費及び償却費

売上収益・コア営業利益・EBITDA推移

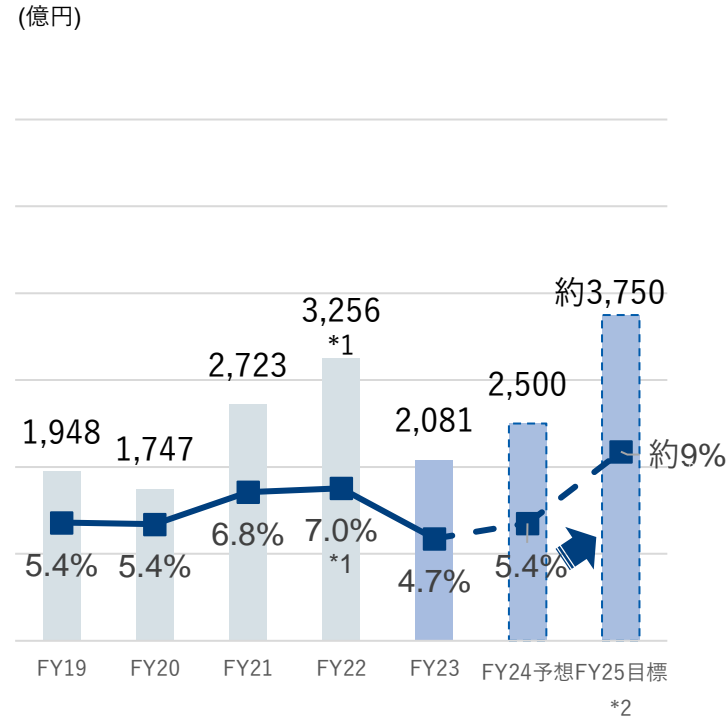
売上収益



*1 ジレニア仲裁判断の結果を控除して算定した FY22の売上収益は45,086億円です。

*2 石化事業100%保有ケース

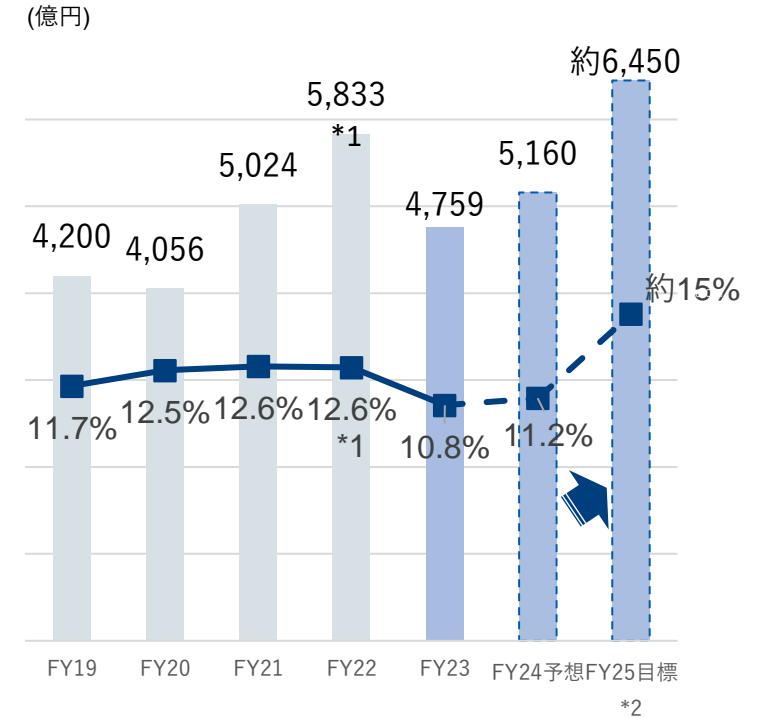
コア営業利益・コア営業利益率



*1 ジレニア仲裁判断の結果を控除して算定した FY22のコア営業利益は1,997億円、コア営業利益率は4.4%です。

*2 石化事業100%保有ケース

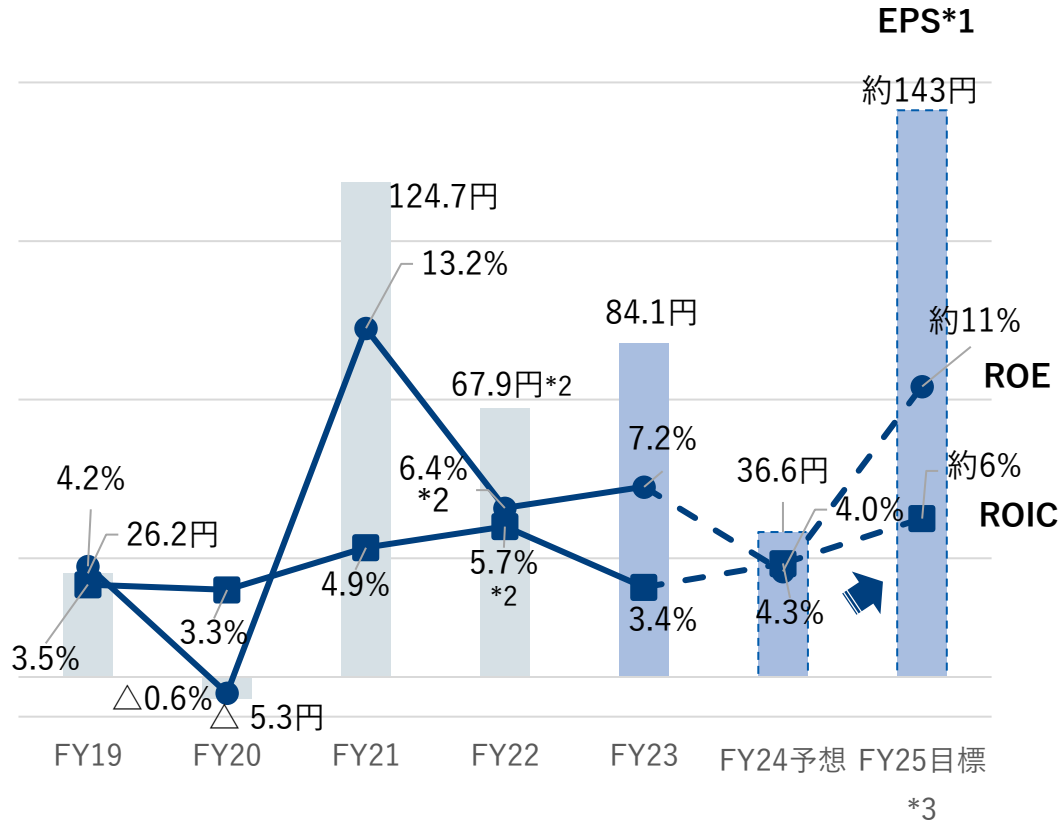
EBITDA・EBITDAマージン



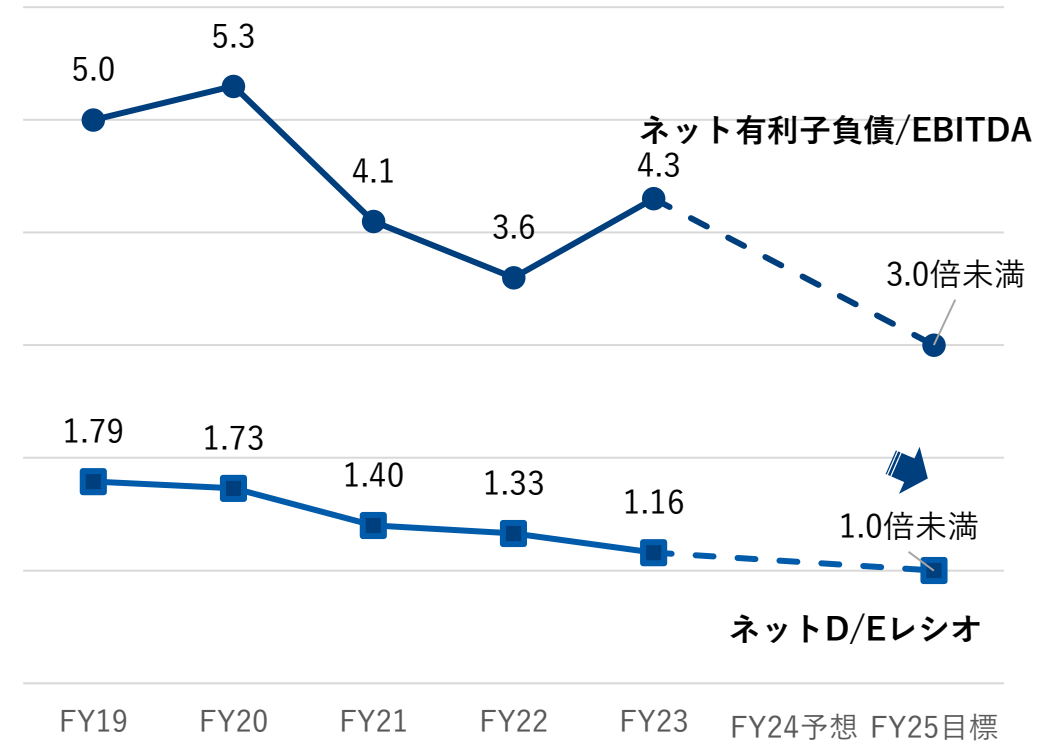
*1 ジレニア仲裁判断の結果を控除して算定した FY22のEBITDAは4,574億円、EBITDAマージンは10.1%です。

*2 石化事業100%保有ケース

EPS・ROIC・ROE



ネット有利子負債/EBITDA・ネットD/Eレシオ



*1 EPSは継続事業に係る1株当たり利益を表示しています。

*2 ジレニア仲裁判断の結果を控除して算定したFY22のEPSは4.9円、ROICは3.6%、ROEは0.5%です。

*3 石化事業100%保有ケース

指標	算定式
EBITDA	コア営業利益－コア営業利益に含まれる持分法による投資損益＋減価償却費及び償却費
ROIC	<p>NOPAT(*1)／投下資本(期首・期末平均)(*2)</p> <p>(*1) NOPAT = (コア営業利益－コア営業利益に含まれる持分法による投資損益)X(1－税率) ＋ コア営業利益に含まれる持分法による投資損益＋受取配当金</p> <p>(*2) 投下資本 = 資本合計＋有利子負債</p>
ROE	親会社の所有者に帰属する当期利益／親会社の所有者に帰属する持分(期首・期末平均)
ネットD/Eレシオ	<p>ネット有利子負債(*3)／親会社の所有者に帰属する持分</p> <p>(*3) ネット有利子負債 = 有利子負債－(現金及び現金同等物＋手元資金運用額(*4))</p> <p>(*4) 手元資金運用額は、当社グループが余剰資金の運用目的で保有する現金同等物以外の譲渡性預金・有価証券等であります。</p>

参考資料②

ヘルスケアセグメント 医薬品事業 研究開発の状況 等

主な開発パイプライン 一覧

2024年4月25日現在

領域	治験コード	開発地域	適応症 / 特徴	P1	P2	P3	申請	承認
中枢神経	ND0612	グローバル	パーキンソン病					
	MT-3921	グローバル	脊髄損傷					
	MT-0551	日本 ^{*1}	重症筋無力症					
	MT-8554	日本	末梢性神経障害性疼痛					
免疫炎症	MT-7117	グローバル	赤芽球性プロトポルフィリン症 (EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症 (XLP)					
		グローバル	全身性強皮症					
	MT-2990	グローバル	子宮内膜症					
	MT-0551	日本 ^{*1}	IgG4関連疾患					
日本		全身性強皮症						
がん	MT-2111	日本	再発又は難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 (単剤療法)					
		日本 ^{*2}	再発又は難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 (リツキシマブとの併用療法)					

^{*1}アムジェン社と共同開発

^{*2} ADCセラピューティクス社と共同開発

主な開発パイプラインの上市計画

	24/3月期	25/3月期	26/3月期以降
中枢神経	MT-1186 ALS(経口懸濁剤) (日本*1)	ND0612 パーキンソン病 (グローバル)	MT-0551 重症筋無力症 (日本*2)
免疫炎症			MT-0551 IgG4関連疾患 (日本*2) MT-7117 EPP, XLP (グローバル)
糖尿病・腎		TA-7284 OD錠 2型糖尿病、2型糖尿病を合併する 慢性腎臓病*3 (日本)	MT-2412 OD錠 2型糖尿病*4 (日本)
ワクチン	MT-2355 5種混合ワクチン*5 (日本)		
がん			MT-2111 再発又は難治性びまん性大細胞型 B細胞リンパ腫 (単剤療法) (日本) MT-2111 再発又は難治性びまん性大細胞型 B細胞リンパ腫 (リツキシマブと の併用療法) (日本*6)

*1 スイスで上市済み

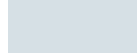

*2 アムジェン社と共同開発

*3 2型糖尿病を合併する慢性腎臓病 ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く

*4 2型糖尿病 ただし、テネリグリブチン臭化水素酸塩水和物及びカナグリフロジン水和物の併用による治療が適切と判断される場合に限る

*5 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防

*6 ADCセラピューティクス社と共同開発

 : グローバル (米国上市年度)  : 日本・中国  : 上市済み

5種混合ワクチン*1 ゴービック水性懸濁注シリンジ 日本で発売（2024年3月）

- 定期接種ワクチンの総接種回数の削減により、乳幼児および保護者の負担を軽減
 - 一般財団法人阪大微生物病研究会と共同開発を行い、5種混合ワクチンとして国内で初めて製造販売承認を取得*2
 - ファイザー株式会社と共同でプロモーションを実施*3
 - 2024年4月より定期接種開始



*1 既存の4種混合ワクチン（百日せき、ジフテリア、破傷風、不活化ポリオ混合ワクチン）である「テトラビック皮下注シリンジ」の抗原成分に、ヘモフィルスインフルエンザ菌b型(Hib)の抗原成分を加えた5種混合ワクチン

*2 製造販売元は一般財団法人阪大微生物病研究会

*3 「ゴービック水性懸濁注シリンジ」（百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ・Hib混合ワクチン）コプロモーション実施のお知らせ（2024年1月23日 プレスリリース）

医薬品事業 損益計算書 (2024年3月期 実績)

(億円)

	23/3月期 通期	24/3月期 通期	増減	増減率
売上収益	5,354	4,374	△ 981	△ 18.3%
国内	3,191	3,102	△ 89	△ 2.8%
海外	2,164	1,272	△ 892	△ 41.2%
海外売上比率	40.4%	29.1%		
売上原価	2,059	2,107	48	2.3%
売上原価率	38.5%	48.2%		
売上総利益	3,296	2,267	△ 1,029	△ 31.2%
販管費等	1,853	1,704	△ 149	△ 8.0%
研究開発費	878	630	△ 248	△ 28.3%
コア営業利益	1,442	562	△ 880	△ 61.0%
非経常項目	△ 600	127	727	
営業利益	843	689	△ 153	△ 18.2%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	853	564	△ 289	△ 33.9%

当期において、為替レートの変動により、売上収益で約+72億円、コア営業利益で約+5億円の影響がありました。

医薬品 製品別売上収益（2024年3月期 実績）

	(億円)			
	23/3月期 通期	24/3月期 通期	増減	増減率
国内医療用医薬品	3,100	3,008	△ 92	△ 3.0%
重点品・新製品	1,664	1,717	+ 53	3.2%
ステラーラ	662	653	△ 9	△ 1.3%
シンポニー	436	433	△ 2	△ 0.5%
テネリア	154	120	△ 34	△ 22.2%
カナグル	116	118	+ 2	1.5%
カナリア	97	108	+ 11	10.8%
バフセオ	20	22	+ 2	12.3%
ユプリズナ	28	61	+ 33	116.6%
ルパフィン	98	93	△ 5	△ 5.0%
ジスバル	32	54	+ 23	71.3%
ラジカット	22	55	+ 33	151.0%
ワクチン	351	343	△ 8	△ 2.2%
インフルエンザ	111	106	△ 5	△ 4.3%
テトラビック	93	88	△ 6	△ 6.2%
ゴービック	-	12	+ 12	-
ジェービックV	41	33	△ 8	△ 18.9%
ミールビック	49	50	+ 1	1.2%
水痘ワクチン	46	41	△ 4	△ 9.7%
長期収載品等	1,085	948	△ 137	△ 12.6%
レミケード	346	297	△ 49	△ 14.2%
海外医療用医薬品	794	1,117	+ 323	40.7%
ラジカヴァ	462	792	+ 331	71.6%
ロイヤリティ収入等	1,383	169	△ 1,215	△ 87.8%
インヴォカナ ロイヤリティ	63	66	+ 3	5.1%
ジレニア ロイヤリティ	1,285	54	△ 1,231	△ 95.8%

マンジャロ（薬価ベース）：78億円（1Q：9億円、2Q：23億円、3Q：24億円、4Q：23億円）

医薬品事業 業績予想 (2025年3月期)

(億円)

	24/3月期	25/3月期		増減	増減率
	実績	上期	下期		
売上収益	4,374	2,200	2,290	116	2.7%
国内	3,102	1,580	1,680	158	5.1%
海外	1,272	620	610	△ 42	△ 3.3%
海外売上比率	29.1%	28.2%	26.6%	27.4%	
売上原価	2,107	1,100	1,180	173	8.2%
売上原価率	48.2%	50.0%	51.5%	50.8%	
売上総利益	2,267	1,100	1,110	△ 57	△ 2.5%
販管費等	1,704	880	910	86	5.0%
研究開発費	630	310	340	20	3.2%
コア営業利益	562	220	200	△ 142	△ 25.3%
非経常項目	127	35	25	△ 67	
営業利益	689	255	225	△ 209	△ 30.4%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	564	130	155	△ 279	△ 49.5%

医薬品 製品別売上収益予想（2025年3月期）

(億円)

	24/3月期 実績	25/3月期		増減	増減率
		上期	下期		
国内医療用医薬品	3,008	1,524	1,632	+ 148	4.9%
重点品・新製品	1,717	809	832	△ 76	△ 4.4%
ステララ	653	308	275	△ 70	△ 10.7%
シンポニー	433	215	209	△ 9	△ 2.1%
テネリア	120	41	76	△ 3	△ 2.1%
カナグル	118	59	55	△ 4	△ 3.4%
カナリア	108	35	47	△ 26	△ 24.3%
パフセオ	22	12	12	+ 2	8.7%
ユプリズナ	61	36	46	+ 22	35.6%
ルパフィン	93	36	52	△ 5	△ 5.6%
ジスバル	54	36	28	+ 9	17.0%
ラジカット	55	32	31	+ 8	15.2%
ワクチン	343	238	207	+ 101	29.5%
インフルエンザ	106	75	49	+ 18	17.0%
テトラビック	88	22	12	△ 54	△ 61.5%
ゴービック	12	68	85	+ 140	1,139.0%
ジェービックV	33	20	15	+ 2	4.9%
ミールビック	50	26	20	△ 3	△ 6.6%
水痘ワクチン	41	20	20	△ 2	△ 3.7%
長期収載品等	948	478	593	+ 123	13.0%
レミケード	297	128	119	△ 50	△ 16.8%
海外医療用医薬品	1,117	554	542	△ 20	△ 1.8%
ラジカヴァ	792	408	399	+ 15	1.9%
ロイヤリティ収入等	169	非開示	非開示	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	66	非開示	非開示	-	-
ジレニア ロイヤリティ	54	非開示	非開示	-	-

参考資料③

スペシャリティマテリアルズ 市場別動向

スペシャリティマテリアルズ・最重要戦略市場動向

最重要戦略市場		主要製品	2024年3月期 第4四半期 概況	2025年3月期以降 見通し
EV/モビリティ		電解液 繊維強化プラスチック・ 複合材料 コンパウンド	一部国内自動車生産減による影響は見られたものの、グローバルでは半導体不足等の影響が緩和し、回復基調が継続	地域により濃淡はあるも、総じて緩やかな成長継続を見込む
デジタル	半導体	半導体洗浄サービス エポキシ樹脂 半導体装置パーツ	2022年下期以降、半導体市場の調整局面が継続していたが、AI等の最先端プロセス向けを中心に緩やかに回復基調	2024年度下期以降にかけて緩やかな回復継続を見込む 中長期的には車載及びデータセンター向け等の一層の需要拡大により市場成長は続く見通し
	エレクトロニクス	光学用フィルム ディスプレイ関連材料	2024年2月以降、一部パネルメーカーの稼働が復調	2024年度1Qもパネルメーカーの高稼働継続を見込む 中長期的にはTVの大型化に伴い堅調な需要継続
メディカル		インプラント用樹脂・素材	グローバルで堅調に推移	中長期的には高齢化人口の増加、生活習慣病や慢性疾患の罹患率の増加により市場成長は続く見通し
食品		乳化剤 包装フィルム 包装材料	インフレの影響等によりグローバルで食品包装材料市場は軟調に推移	食品包装材料市場はグローバルで需要が緩やかに復調 中長期的にはフードロス削減等のニーズを背景に需要拡大を見込む

スペシャリティマテリアルズ・市場別 売上収益及びEBITDA

(億円)

	23/3月期 実績		24/3月期 実績		25/3月期 予想		26/3月期 目標	
	売上収益	EBITDA	売上収益	EBITDA	売上収益	EBITDA	売上収益	EBITDA
スペシャリティマテリアルズ	12,300	1,110	11,700	720	12,900	880	13,700	2,250
EV/モビリティ	2,000	110	2,100	110	2,400	160	2,500	340
デジタル	2,300	350	2,400	280	2,700	280	3,500	750
半導体	1,000	190	1,000	130	1,000	150	-	-
エレクトロニクス	1,300	160	1,400	150	1,700	130	-	-
メディカル	600	70	600	60	700	90	1,600	300
食品	2,100	340	2,000	300	2,100	260	2,200	390
産業材、消費財、建設等	5,300	240	4,600	△ 30	5,000	90	3,900	470

* 市場別内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

* 上記数値は24年3月期までのスペシャリティマテリアルズセグメントベース。

ここで記す「説明会」とは、三菱ケミカルグループ株式会社（以下、「当社」）によって説明または配布された本資料、口頭でのプレゼンテーション、質疑応答及び書面または口頭等の資料を含みます。

本説明会および本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。

当社グループは各種機能商品、MMA、石化製品、炭素製品、産業ガス、医薬品等、非常に多岐に亘る事業を行っており、その業績は国内外の需要、為替、ナフサ・原油等の原燃料価格や調達数量、製品市況の動向、技術革新のスピード、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によって影響を受ける可能性があります。但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。

なお、医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。